

公益財団法人 日本バレーボール協会
第12期・2021年度事業計画
(2021年4月1日～2022年3月31日)

新型コロナウイルスの感染拡大により1年延期された第32回オリンピック競技大会(2020/東京)・東京2020パラリンピック競技大会がいよいよ2021年度に開催されます。

公益財団法人日本バレーボール協会(以下JVA)は「バレーボールを愛するすべての国民の心身の健全な発達、維持および人間性の涵養に寄与し、豊かな社会の形成に貢献する」という理念のもと、加盟団体、登録会員、バレーボールファンとともに、さらには全国民にバレーボールの素晴らしい魅力を提供し、大きな感動に包まれる2021年度となる事を目指します。

<2021年度の基本方針>

2018年10月にキックオフをした中期経営計画(2018～2024年度)は、2020年度までの実績を踏まえ修正し、2021年をあらたなスタート年度と位置付ける。オリンピック・パラリンピックの開催国として本大会に臨むことは、選手強化はもとより観戦を通して広く国民にバレーボールの素晴らしさを伝える最大の機会となる。財務改革の推進により、強固な攻めと守りの両立を実現し、バレーボールの魅力向上に積極的に挑戦出来る計画を立案するとともに、達成に向け一丸となって邁進する。

1.各種事業の再開

2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、多くの大会や講習会等が中止となった。2021年度については、国・地方自治体・関係官庁の指針を遵守し、JVAバレーボールガイドラインに従って各種大会・教室・講習会・研修会等の再開を目指す。

2.選手強化事業

(1) 東京2020大会に向けて

従来から継続してきた強化策を確実に実行し、最大のパフォーマンスを発揮してオリンピックの表彰台を目指す。

(2) 2024年のパリ大会を見据えた強化体制の構築

- ・中学から高校、大学、社会人に至るまでの一貫した強化体制を構築する。
- ・アンダーエイジカテゴリー(年代別日本代表)の育成を強化する。
- ・選手の選考システムを構築する。
- ・ビーチバレーボールの強化体制を見直す。

3.普及・振興事業

- (1) バレーボール人口の減少に歯止めをかけ、幼少期からも対象としたバレーボール教室を開催する。
- (2) バレーボールの普及・振興の中核となる指導者の育成を促進する。

4.バレーボールのビジネス化・事業改革のより一層の推進

- (1) 新たな国際大会開催に向けた企画・調整・実行計画を策定する。
- (2) バレーボールの価値を高め、スポンサー向け広報（マーケティング・コミュニケーション）の充実及びメディアへの露出を強化する。
- (3) 総合力を最大化できる業務改革（仕事の見直し、業務の効率化）を推進する。

5.加盟団体との協働

- (1) 加盟団体との連携のもと安心・安全を基盤とした国際、国内、ビーチバレーボール大会を開催する。
- (2) 経営課題の抽出・整理をして法人化を推進する。併せて法人化推進のためのセミナーの開催も検討する。

6.財務改革の推進

中期経営計画の最重要課題の1つでもある財務改革について、2021年度においても収入・費用の両面からの改革を断行し、2021年度の予算を確実に実行する。

7.インテグリティ向上の推進

インテグリティ向上の重要性を組織全体に浸透させる。特に、体罰・暴力・ハラスメントについては、引き続きの重要課題として位置付け、各種委員会との連携を強化して、根絶に向けた活動を推進する。

8.ガバナンスの強化

スポーツ団体ガバナンスコードをJVAの目指すべき規範と位置付け、透明性のある協会運営を推進する。

★略称解説★

AVC	アジアバレーボール連盟 (Asian Volleyball Confederation)
BVT	ビーチバレーボールツアー
FISU	国際大学スポーツ連盟 (International University Sports Federation)
FIVB	国際バレーボール連盟 (Fédération Internationale de Volleyball)
JOC	公益財団法人日本オリンピック委員会 (Japanese Olympic Committee)
JSC	独立行政法人日本スポーツ振興センター (Japan Sport Council)
NF	各国のバレーボール協会 (National Federation)
NTC	味の素ナショナルトレーニングセンター
VNL	バレーボールネーションズリーグ (Volleyball Nations League)
Vリーグ機構	一般社団法人日本バレーボールリーグ機構

2. 事業内容

(1) 競技力向上事業及び競技力向上に係る日本代表選手団国際大会派遣事業

①各カテゴリー日本代表チームの選手育成・強化事業

全国の社会人、大学生、高校生の中から選抜された有力選手による日本代表チームを編成し、国際競技力向上を図るため以下の諸事業を行う。

1) 男子・女子日本代表チーム強化目標

7月開催の東京2020大会での目標（男子：ベスト4・女子：メダル獲得）達成のため、男子、女子チームとも5シーズン目の中垣内・中田両監督体制でのチームを更に強化する。2018年度に新設されたバレーボールネーションズリーグにおいて、男女ともに世界ランクの上位チームに勝利し、東京2020大会への足掛かりとする。

なお、4月末には男女中国代表チームを招聘し、「バレーボール日本代表国際親善試合～東京チャレンジ2021～」を開催する。延期となった東京2020大会本番と同様の設営での開催とし地元の利をいかにす。

また、男子は9月に日本開催となる第21回アジア男子選手権大会で2大会ぶりの優勝を目指す。

女子は8月末に中国開催となる第21回アジア女子選手権大会で2連覇を目指し世界選手権大会の出場権を獲得する。

■男子：国内合宿・NTCを中心に強化合宿を実施

VNL大会前に強化試合を予定

■女子：国内合宿・NTCを中心に強化合宿を実施

世界ランキング1位の中国との強化試合を計画

注) 日本代表チームとはトップレベル選手で構成された日本代表チーム

2) 男子・女子ユニバーシアード日本代表チーム強化合宿

8月に中国・成都で開催されるFISUワールドユニバーシティゲームズで、男子はメダル獲得を目標に、選手強化合宿を行う。

女子は同大会での4大会連続のメダル獲得を目標に、選手強化合宿を行う。

■男子：国内合宿・NTC及び他で実施

■女子：国内合宿・NTC及び他で実施

注) ユニバーシアードチームとは、主に大学生を中心に構成される日本代表チーム

3) 男子U21・女子U20日本代表チーム強化合宿

男子は世界選手権大会出場権を獲得できず、国内強化合宿で継続的に強化を推進する。

女子は新型コロナウイルスの感染拡大によりU19アジア選手権が中止となったが、AVC推薦で本年開催の第21回女子U20世界選手権大会出場が確定した。大会2連覇を目指しチーム強化合宿を行う。また、第33回オリンピック競技大会(2024/パリ)に向けて次世代選手の強化を行う。

■男子：国内合宿・NTC及び他で実施

■女子：国内合宿・NTC及び他で実施

注) 男子U21・女子U20チームとは、男子が2001年1月1日以降に、女子が2002年1月1日以降に出生した選手で構成される日本代表チーム

4) 男子 U19・女子 U18 日本代表チーム強化合宿

新型コロナウイルスの感染拡大により男子 U18 アジア選手権大会、女子 U17 アジア選手権大会が中止となったが、AVC 推薦で男女ともに本年開催の世界選手権大会出場が確定した。男子はイランで開催（時期未定）される第 17 回男子 U19 世界選手権大会でメダル獲得を目指しチーム強化合宿を行う。

女子はメキシコで開催（時期未定）される第 17 回女子 U18 世界選手権大会でメダル獲得を目指しチーム強化合宿を行う。

■男子：国内合宿・NTC 及び他で実施

■女子：国内合宿・NTC 及び他で実施

注) 男子 U19・女子 U18 日本代表チームとは、男子が 2003 年 1 月 1 日以降に、女子が 2004 年 1 月 1 日以降に出生した選手で構成される日本代表チーム

②競技活動を行う選手の競技・練習環境の整備、セカンドキャリアに関する啓発、情報発信

JOC、JSC 等と連携し、ナショナルトレーニングセンター内のバレーボール専用コート他
の継続的な環境整備を実施する。

また、選手のセカンドキャリアについても JOC の協力を仰ぐ等実施していく。

③将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業

1) 全国小学生・中学生・高校生長身選手の発掘育成事業

将来有望な長身選手の発掘、育成、強化を目的に、公募および推薦によるオーディションを行い、選抜した有望選手の育成強化合宿を実施する。そして、各世代別（小学生・中学生・高校生）有望選手の記録をデータ化し、選手情報を経年的に強化委員会等で共有する。

また、年 1 回各カテゴリー（中学生・高校生）別の有望選手達による選抜チームを編成し、国内・海外で外国人チームとの国際試合を行い、国際的に通用する選手の育成を行う。

加えて、将来のオリンピックを見据えたターゲット選手を選定し、それらの選手の一貫指導を実施していく。

④競技力向上にかかわるバレーボール技術の調査研究及びスポーツ医・科学の調査研究事業

1) 日本代表選手の科学的測定評価、測定結果に基づくトレーニング処方立案とサポート

2) 日本代表チームとの対戦が想定される外国チームの戦力掌握

3) トレーナーおよびアナリストの育成、教育を行って日本代表チームに派遣するとともに、日本代表チームが利用する機材およびデータの管理・運用

4) 日本代表チームにドクターを派遣し、歯科・整形外科診断を中心に選手の健康維持、怪我防止及び傷害発生時の対処、薬剤を手配

5) アンチ・ドーピングの啓発を含むスポーツ・インテグリティの向上をはかる

6) 感染症専門ドクターからの示唆を仰ぎ、新型コロナウイルスの感染対策を十分に実施したうえで安心・安全なトレーニング環境を創る

⑤各カテゴリー日本代表選手団の国際大会派遣事業

選手、チーム強化合宿の効果を検証するとともに、実戦（試合）を経て得られる技術、戦術の他総合的な競技力向上を目的として、以下の各大会に日本代表選手団を派遣する。

■男子：

<日本代表>

- ・バレーボール日本代表国際親善試合～東京チャレンジ 2021～
5/1～5/2 東京・有明アリーナ
- ・FIVB バレーボールネーションズリーグ 2021
※日程、開催場所ともに FIVB 調整中。
- ・第 32 回オリンピック競技大会(2020/東京)
7/24～8/7 東京・有明アリーナ

<アンダーエイジカテゴリー (年代別日本代表) >

- ・第 17 回男子 U19 世界選手権大会
開催時期未定 イラン

■女子：

<日本代表>

- ・バレーボール日本代表国際親善試合～東京チャレンジ 2021～
5/1 東京・有明アリーナ
- ・FIVB バレーボールネーションズリーグ 2021
※日程、開催場所ともに FIVB 調整中。
- ・第 32 回オリンピック競技大会(2020/東京)
7/25～8/8 東京・有明アリーナ

<アンダーエイジカテゴリー (年代別日本代表) >

- ・第 21 回女子 U20 世界選手権大会
開催時期未定 オランダ・ベルギー
- ・第 17 回女子 U18 世界選手権大会
開催時期未定 メキシコ

(2) 国際大会開催事業及び国際貢献・交流事業

①国際大会開催事業

1) バレーボール日本代表国際親善試合～東京チャレンジ 2021～

- 開催期間 : 5月1日(土)～2日(日)
- 開催都市 : 東京都江東区(有明アリーナ)
- 出場チーム : 【男子】日本、中国
【女子】日本、中国
(選手団 100 人、競技役員 50 人、計 150 人が参加予定)
- 試合数 : 3 試合 ※5月1日(土) 男子 1 試合・女子 1 試合
※5月2日(日) 男子 1 試合

2) 2021 バレーボール男子日本代表紅白試合

- 開催期間 : 5月8日(土)～9日(日)

- 開催都市 : 群馬県高崎市 (高崎アリーナ)
- 出場チーム : 【男子】 男子日本代表チーム
(選手団 30 人、競技役員 25 人、計 55 人が参加予定)
- 試合数 : 2 試合 ※5 月 8 日 (土) 男子 1 試合
※5 月 9 日 (日) 男子 1 試合

3) 第 21 回アジア男子バレーボール選手権大会

- 開催期間 : 9 月 12 日 (日) ~19 日 (日)
- 開催都市 : 千葉県千葉市 (千葉ポートアリーナ) / 同県船橋市 (船橋アリーナ)
- 出場チーム : 開催国、前回大会上位 10 チーム、他アジア各 5 地域から上位 1 チーム
(選手団 320 人、競技役員 50 人、計 370 人が参加予定)
- 試合数 : 延べ 56 試合 《1 日 4 試合 ×2 会場×7 日》

※上記 1) ~ 3) の開催内容については、新型コロナウイルス感染の拡大状況により変更が生じる可能性あり

4) FIVB バレーボールネーションズリーグ 2021

FIVB バレーボールネーションズリーグは、参加権を与えられたコア 12 チームにチャレンジャー 4 チームが加わり、2018 年からスタートした世界転戦型のリーグ戦方式の大会。2018 年に第 1 回大会が行われ、2024 年までは、男女日本代表チームはコア 12 チームのひとつとして参加資格が与えられている。2021 年大会は、当初京都男子大会、富山男子大会、富山女子大会が予定されていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一国に参加 16 チームが集結する方式に変更して開催することが決定された。

②国際貢献・交流事業

1) FIVB 及び AVC 役員等派遣事業

FIVB および AVC の理事職および競技運営、審判規則、指導普及、医事ほか各種委員会の委員として JVA の代表を派遣し、世界のバレーボール界の発展に寄与するとともに国際的な貢献を行う。

本年は、FIVB および AVC 理事会ほか、各種会議に当該メンバーを派遣するとともに、国際レベルの指導者講習会への講師の派遣と FIVB および AVC が主催する大会への競技役員ならびに審判員を派遣する。

2) バレーボールバンク事業

自国におけるバレーボール普及発展のため用器具等の支援が必要な国に対し、競技会やトップバレーボールチームが使用したボール、その他バレーボール用器具を寄贈して競技の普及を図り、同時に様々なバレーボール情報を提供し、国際社会におけるスポーツ振興に寄与する。

併せて同事業の戦略的展開を通じ、寄贈対象となった各国のバレーボール協会 (NF) との友好を結び、連携強化を図る。

3) 国際移籍 (International Transfer Certificate)

FIVB が定める手続きに従い、国内リーグでプレーする外国籍選手および海外リーグでプレーする日本人選手の承認を NF として行う。国内リーグ所属チームのサポートも含む。日本人選手については、所定の移籍金を徴収する。

(3) 講習会開催事業、指導者、審判員等養成及び資格認定・登録事業

① 競技者拡大

近年の競技人口の減少は憂慮すべき事態であり、特に小学生、中学生が著しく減少している。競技人口を増やすことは喫緊の課題であるため、競技者拡大に向けた事業の検証・整理を行い、現行の事業のリニューアルも含めた計画（中期・長期含む）を設定する。また、競技者の更なる拡大・競技の継続に向け、新規事業を立ち上げ競技者拡大を図ることを念頭に、今年度は以下の事業を実施する。

1) V リーグ選手と一緒にバレーボール教室

小学生のバレーボール未経験者及び初心者を対象に、V リーグ選手（含 OB・OG）が参加してバレーボール教室を全国 5 会場で開催予定。

2) 中学校ビギナー選手バレーボール大会推進事業

中学 1 年生からバレーボールを始めた選手への競技継続のモチベーションの促進とともに、競技の魅力及び競技力の向上を目的とするためのバレーボール教室及び大会を開催する。

3) 全国小中一貫バレーボール教室事業

小・中学生合同のバレーボール教室を実施する。一貫指導の充実とバレーボール人口の増加を図ることを目的として、全国 3 会場（予定）で開催する。（開催地については調整中）

4) 幼稚園・保育園等でのソフトバレーボール（風船等）実践事業

ソフトバレーボールを通して、幼児期にバレーボールの楽しさを伝えるとともに、ボールを使ったコーディネーショントレーニングを実践し、幼少期の運動能力・発育を促す事業展開する。

5) アンダー10 大会促進事業

小学 4 年生以下を対象としたチーム内でレギュラー以外の選手の競技継続を目的とした大会を開催し、ボール接触機会と競技の楽しさを味わってもらうとともに、次カテゴリーでのバレーボール継続を促進する。

② 指導者養成事業

各種指導者を対象に、以下の主な養成講習会等を開催する。

1) 都道府県別バレーボール指導者研修会

各都道府県の指導者の資質向上を目的に、各地で開催する。（開催地については調整中）

2) 公益財団法人日本スポーツ協会からの受託事業として、日本スポーツ協会公認コーチ 4・コーチ 3・コーチ 2・コーチ 1、バレーボール専門科目認定講習会等、資格取得に向けたバレー

ーボール専門科目の講習会を各地で開催する。

3) JVA 公認講師認定講習会・公認講師研修会・公認指導者研修会

JVA が開催する講習会・研修会・教室の講師を務める指導者を対象として、認定講習会及びスキル向上のための研修会を開催する。

4) 全国小学生バレーボール指導者研修会

小学生の指導者を対象として第一次・第二次講習会を各地で開催する。(開催地については調整中)

5) 全国中学生バレーボール指導者研修会

中学生の指導者を対象として全国中学生指導者研修会を各地で実施する。(開催地については調整中)

6) ビーチバレーボール指導者研修会

ビーチバレーボールの指導者を対象として全国ビーチバレーボール指導者研修会を各地で実施する。(開催地については調整中)

③ 審判員養成・育成事業

国際大会における国際審判員の派遣および国内競技会の審判員派遣とともに、円滑な競技会運営のために、6人制・9人制・ビーチバレーボールの審判技術向上と審判員の養成と育成を目的に、主な事業を下記により開催する。

【6人制】	開催期間	開催地・会場等
全国ラインジャッジ・クリニック	4/30～5/2	大阪(丸善インテックアリーナ大阪)
S1 レフェリー認定講習会	6月～7月	V サマーリーグ開催時
S1、S2 レフェリー技術強化事業	8月	大阪(近畿大学予定)
S3 レフェリー技術強化事業	5月～8月	全国各ブロックで開催
A級審判員資格取得審査講習会	8月開催予定	大阪(近畿大学予定)
A級審判員技術強化事業	11/29～12/5	東京都他
全国6人制審判講習会	2022年3月下旬	東京
【9人制】		
N1 レフェリー認定講習会	未定	未定
N2 レフェリー技術強化事業	5月～8月	全国各ブロックで開催
審判員育成事業	10/28～10/31 10/29～11/1	北海道(帯広市) 福岡県(久留米市)
A級審判員技術強化事業	11/26～11/28	大阪(丸善インテックアリーナ大阪)
全国9人制審判講習会	2022年3月下旬	大阪(予定)
【ビーチバレーボール】		
B1 レフェリー認定講習会	4月～5月	未定
B2 レフェリー技術強化事業	5月～8月	全国各ブロックで開催
A級審判員技術強化事業	7/15～7/16	未定
全国ビーチバレーボール審判講習会	2022年3月下旬	神奈川(予定)

1) 指導者資格認定事業

バレーボールを正しく、安全に、楽しく指導することを目標に、バレーボールの特性を活かしながら本質的な素晴らしさを伝える指導者資格として以下の認定登録を行う。

- 小学生バレーボール指導者資格
- ソフトバレーボール アクティブリーダー/マスターリーダー/名誉マスターリーダー
- 公認講師

2) 審判員資格認定事業

競技会における公平・公正な判定と円滑な試合運営を行う審判員の資格認定と登録を行う。また、2020年度に実施できなかった、障害者対象の審判員資格審査会について検討する。

- A級審判員 ○A級候補審判員 ○B級審判員 ○C級審判員
- ビーチバレーボール審判員 ○障害者対象審判員

(4) 全国大会等国内競技会開催事業

①天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会

日本の6人制バレーボール最高のチームになる栄誉を競い、本協会の根幹となる天皇杯・皇后杯の名を冠するに相応しい、国内最高峰に位置づけられている大会である。本年は以下の日程で開催する。

■都道府県ラウンド（県代表1チームを選出）

- 開催期間：4～7月
- 開催都市：各都道府県内体育館

■ブロックラウンド（ブロック代表16チームを選出）

- 開催期間：9～10月
- 開催都市：各ブロック内体育館

■ファイナルラウンド：男女各24チーム

（ブロック代表16チームにVLEAGUEのD1チームを加える）

- 開催期間：12月10～12日（1回戦～準々決勝）
12月18～19日（準決勝・決勝）
- 開催都市：群馬県高崎市 高崎アリーナ

②全日本小学生大会（男女・混合大会）

教育的配慮のもとにバレーボールを通じて全国児童の親睦と交流を図ること、バレーボールによる小学生の体力向上とたくましさの醸成に努めること、小学生から正しいバレーボールの基本技術とチームプレーを体得し、楽しいゲームが出来るように指導することを目的に、以下の日程で開催する。

■都道府県大会

- 開催期間：4～7月
- 開催都市：各都道府県内体育館

■全国大会

- 開催期間：8月10～13日
- 開催都市：男子：奈良市・橿原市 女子：和歌山市・橋本市 混合：姫路市・加古川市

③JOC カップ全国都道府県対抗中学大会

将来のオリンピック選手の発掘と中学生バレーボールのレベルアップを図り、各チームとの交流を通して友情を深め、フェアプレー精神の高揚を目指し、中学生指導者の研修の場とすることを目的に、以下の日程で開催する。

➤開催期間：12月25～28日

➤開催都市：大阪府大阪市

④ 全日本高等学校選手権大会

都道府県予選を勝ち抜いた高校から日本一を決める大会として以下の日程で開催する。

➤開催期間：2022年1月5～9日

➤開催都市：東京都（東京体育館）

⑤秩父宮賜杯・秩父宮妃賜杯全日本大学選手権大会

大学在校生で構成され全日本学連に有効に登録された大学で、地区学連より選抜されたチームが参加できる大会として、以下の日程で大学日本一を決める大会を開催する。

■秩父宮賜杯全日本大学選手権大会（男子）

➤開催期間：11月29日～12月5日

➤開催都市：東京都ほか

■秩父宮妃賜杯全日本大学選手権大会（女子）

➤開催期間：11月29日～12月5日

➤開催都市：東京都ほか

⑥上記の各競技会に加え、JVA 主催、開催地都道府県協会等の主管により、以下の各種別全国大会を開催する。

大会名等	開催期間	開催都市
第7回全日本9人制バレーボールトップリーグ男子 オープニングラウンド ファイナルラウンド	7/15～18 12/18～19	三郷市 京都市、向日市
第73回全日本9人制実業団女子選手権大会 第74回全日本9人制実業団男子選手権大会	7/17～20	松江市
第41回全日本9人制クラブカップ女子選手権大会	7/15～18	広島市
第41回全日本9人制クラブカップ男子選手権大会	8/7～9	大阪市
第20回全国社会人東ブロック男女優勝大会	10/28～31	帯広市
第20回全国社会人西ブロック男女優勝大会	10/29～11/1	久留米市
第90回全日本9人制総合女子選手権大会 第91回全日本9人制総合男子選手権大会	11/26～28	大阪市
第12回全国6人制バレーボールリーグ総合男女 優勝大会（地域リーグ）	4月～12月	全国各地
第12回全国6人制バレーボールリーグ総合男女	2022年1月	未定

優勝大会（東西決勝リーグ） 第12回全国6人制バレーボールリーグ総合男女 優勝大会（グランドチャンピオンマッチ）	～3月 2022年3月	未定
第69回黒鷲旗全日本男女選抜優勝大会	4/30～5/5	大阪市
第41回全日本6人制クラブカップ女子選手権大会	8/7～9	高知市
第41回全日本6人制クラブカップ男子選手権大会	8/13～16	大津市・草津市
第24回全国ヤングクラブ優勝大会	9/25～26	門真市
第10回全国ソフトバレースポレクフェスティバル	9/24～26	船橋市
第23回全国ソフトバレーレディースフェスティバル	10/22～24	佐賀市
第29回全国ソフトバレーシルバーフェスティバル	11/26～28	桜井市
第6回全国ソフトバレー・フリーフェスティバル	11/13～14	八代市
第12回全国ヴィンテージ8s交流大会	10/29～31	御殿場市

⑦公益財団法人日本スポーツ協会との共催により、以下の大会を開催する。

1) 国民体育大会バレーボール競技

➤日程：ビーチバレーボール 9/26～29 開催都市：三重県津市 御殿場海岸特設会場

➤日程：6人制 10/1～4 10/1～4 開催都市：三重県津市 津市産業・スポーツセンター
津市

2) 日本スポーツマスターズ2021

➤日程：9/18～21 開催都市：岡山県岡山市、赤磐市、津山市、真庭市

⑧公益財団法人全国高等学校体育連盟との共催により、以下の大会を開催する。

1) 全国高等学校総合体育大会女子バレーボール競技

➤日程：7/27～31 開催都市：石川県金沢市

2) 全国高等学校総合体育大会男子バレーボール競技

➤日程：8/2～6 開催都市：石川県金沢市

3) 全国高等学校定時制・通信制大会

➤日程：未定 開催都市：未定

⑨公益財団法人日本中学校体育連盟との共催により以下の大会を開催する。

1) 全日本中学校バレーボール選手権大会

➤日程：8/18～21 開催都市：埼玉県さいたま市、所沢市

(5) V. LEAGUE 開催及び開催支援事業

Vリーグ機構が主催し、本会が共催する V. LEAGUE 開催により、バレーボールの普及・振興に寄与するとともに、大会へのジュリーと審判員の派遣により、V. LEAGUE の試合運営の支援を行う。

(6) 加盟団体との連携強化

加盟団体に対して、国際大会および国内大会の運営に関するサポートや各種事業において、相互の協力体制を確立し、協働で運営できるように努める。

(7) ビーチバレーボール事業

①競技力向上事業及び競技力向上に係る日本代表選手国際大会派遣事業

1) ビーチバレーボール男女日本代表チーム

7月開催の東京 2020 大会での目標（男子：ベスト 8・女子メダル獲得）達成のため、強化指定選手の強化と国際大会への派遣を行う。東京 2020 大会を中心として、以下の大会が開催される。

□東京 2020 大会ビーチバレーボール代表決定戦

本大会は、東京 2020 大会

ビーチバレーボール競技の開催国枠日本代表チーム選考会として開催する。本大会で優勝した男女各 1 チームを日本代表チームとして内定する。

・開催日：5月22日（土）・23日（日）

・会場：【男子】グランフロント大阪特設会場（大阪府大阪市）

【女子】立飛ドーム或いは TACHIHI BEACH（東京都立川市）

・参加チーム：男女各最大 6 チーム・ダブルエリミネーション方式

□コンチネンタル第 3 フェーズ大会

東京 2020 大会出場権獲得のために男女各 2 チームを派遣。優勝チームにはアジア代表出場権利が与えられる。

・開催日：6月24日（木）～27日（日）第 3 フェーズ開催

・会場：中国

・参加チーム：開催国・前回優勝国・アジア 5 地区代表チーム

□第 32 回オリンピック競技大会（2020/東京）

・開催日：7月24日（土）～8月7日（土）

・会場：潮風公園（東京都品川区）

□AVC アジアツアー（4月にアジア各地で開催予定）

国内ランキングポイント上位男女 2 チーム派遣

□FIVB ワールドツアー（2月以降開催予定、詳細は一部を除き未発表）

開催国枠ランキングポイント確保に向けて各チームが参戦。原則、各大会 FIVB ランキングポイント上位 4 チームが出場する。

*6月14日時点で、FIVB オリンピックランキング 15 位以内のチームにオリンピック出場権が与えられる

2) ビーチバレーボール年代別男女日本代表チーム

将来有望選手の発掘、育成、強化を目的に、選抜した選手を強化等十分な準備を行った上で以下の年代別国際大会に派遣する。また計画的な発掘・育成を通じた長期的な強化を目指して新たに取り組む「J-STAR プロジェクト」に加え昨年からの「ハイポテンシャルアスリート構想」を推進し、高校生、大学生を取り入れ U-21・U-17 を見据えたアンダーエイジカテゴリー強化を目指す。

□U21 ビーチバレーボール世界選手権大会（未定）

アジア選手権大会（未定）にて世界選手権大会の出場権を獲得して本戦での上位を狙う。

2024 年のパリ大会を見据えて大学有望選手の派遣を行う。

□U19 ビーチバレーボール世界選手権大会 (9/15～19：タイ、ロイエット)

アジア選手権大会 (7/7～11 タイ、プーケット) にて 5 位以内で世界選手権大会の本戦出場権、または 9 位以内で予選からの出場権を獲得し、本戦での上位進出を狙う。

②全国大会等国内競技会開催事業

1) ジャパンビーチバレーボールツアー (BVT)

2016 年度より、これまで JVA が主催した「シリーズ A」と日本ビーチバレーボール連盟が主催した「JBV ツアー」を統合し、「ジャパンビーチバレーボールツアー」として大会を新設した。

日本におけるビーチバレーボール競技のより一層の発展と、日本から世界に羽ばたくビーチバレーボール選手の輩出を目的として、4～10 月を基本に全国各地で大会を開催する。

収益事業化、集客力の増大を目指して大会構造の見直しを行い、トップツアーにあたる「BVT1」については都市および観光地などでの開催を主とする。JBV 主催で普及やアンダーエイジカテゴリー大会を中心とした「BVT2・3」との連携を強化し、ビーチバレーボール全体の普及発展に寄与することを目指す。

また競技全体の商品価値を高めるべく、引き続き「BVT1」を主としたプロモーション拡充やブランディング強化を図る。

(2021 年 1 月現在)

大会名等	開催期間	開催都市
平塚大会	未定	神奈川県平塚市
立川立飛大会	未定	東京都立川市
松山大会	8-9 月予定	愛媛県松山市
沖縄大会	8-9 月予定	沖縄県豊見城市
名古屋大会	未定	愛知県名古屋市
都城大会	未定	宮崎県都城市
ファイナル グランフロント大阪大会	10 月予定	大阪府大阪市

* 上記については現在調整中につき変更の可能性あり

2) 国民体育大会ビーチバレーボール競技 (正式競技)

大会名等	開催期間	開催都市
第 76 回国民体育大会	9/26～29	三重県津市

3) 日本選手権

各世代の日本一を決める日本選手権大会として、本年は以下の日程で実施する。

(2021 年 1 月現在)

大会名等	開催期間	開催都市
第 33 回全日本ビーチバレー大学男女選手権大会	7/15～16	兵庫県明石市
第 4 回全日本ビーチバレーボール U-23 男女選抜優勝大会	7/17～18	兵庫県明石市
ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会	8/12～15	愛媛県伊予市
第 20 回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会	未定	大阪府阪南市

第 35 回ビーチバレージャパン	8/12～14	神奈川県藤沢市
第 32 回全日本ビーチバレー女子選手権大会	未定	大阪府泉南郡岬町
第 12 回全国中学生ビーチバレー大会	8/16～17	神奈川県藤沢市
ビーチバレー・ルナカップ in 御宿	8/21～22	千葉県御宿市
第 13 回ビーチバレー川崎市長杯	10/9～10	神奈川県川崎市

(8) マーケティング事業

JVA の事業を安定的に運営すべく、バレーボールの社会的な価値および JVA が所有する各種プロパティの価値を向上するための適切なプロモーション活動を行い、JVA の事業に賛同いただいている協賛社とのパートナーシップ強化および新規協賛社の獲得に向け、積極的に活動を行う。

(9) バレーボール用品・用具の公認・推薦事業

競技の公正、安全ほか競技者が安心して楽しくプレーできるように、ボール、ネットほか用品・用具の公認・推薦の認定を行うとともに、競技者及び体育施設等へ、より良い用品・用具が提供されるよう、販売・製造事業者への働きかけを行っていく。

また、公認審判員やソフトバレーリーダーなどに対しては、資格保有者としての自覚を促すため、公認物品の販売を通してその着用を推奨する。

(10) ルールブック販売事業

バレーボールの愛好者、審判員、指導者をはじめとする多くの国民に対し、最新のルール情報を提供するために、公認ルールブックであるバレーボール 6 人制競技規則、同 9 人制競技規則、ソフトバレーボール競技規則、ビーチバレーボール競技規則を出版販売する。

(11) 肖像使用・物品販売による事業の財源を獲得する事業

JVA の事業を安定的に運営すべく、以下の 2 事業を行う。

① 肖像使用許諾事業

JVA 登録選手の肖像権等の管理運営を行い、肖像権使用料収入を得て、一定額を肖像が使用された選手等に配分する。

② バレーボール関連グッズの販売事業

バレーボールの魅力を高め、見る、する人口の拡大に貢献するような商品の開発、販売を行う。

(12) 東京 2020 大会準備室

東京 2020 大会におけるバレーボール競技、ビーチバレーボール競技及びシッティングバレーボール競技の成功と大会気運の醸成に向けて準備室は、「アスリートファースト」及び「レガシー」を念頭にスポーツ庁や東京都、そして公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会及び FIVB との連携と共同作業を行い、競技施設、競技運営、テストイベント、事前キャンプにかかわる諸準備を推進する。

① 5 月に有明アリーナにてバレーボール競技のテストイベントを開催し、東京 2020 大会に備える。

- ② 大会競技役員の研修等を実施し、競技スタッフ及びボランティアのモチベーションを高め、東京 2020 大会に備える。
- ③ 東京 2020 大会の告知・プロモーションを計画し、オリンピックムーブメント醸成に力を注ぐ。
- ④ パラリンピック競技（シッティングバレーボール競技）については、一般社団法人日本パラバレーボール協会と連携を取りながら協力をしていく。

(13) その他の重点項目

- ① スポーツ団体ガバナンスコードの遵守、自己説明および公表
JVA は公共性の高いスポーツ団体として、ガバナンスを確保し、適切な組織運営を行う上での原則・規範を継続的に点検するとともに改善を行なっていく。また、スポーツ団体ガバナンスコードの遵守状況を具体的かつ合理的に自己説明および公表を行う。
特に、体罰・暴力・ハラスメントの撲滅については、対策委員会を中心に加盟団体、指導普及委員会との連携のもとアクションプランの確実な実行を目指す。

JVA ホームページにおいて JVA ならではの情報を発信し、また SNS を通じてバレーボールの魅力を広くファン層に浸透させる。

- ③ JVA の事業戦略に適合した IT 環境の整備と強化を図る。また、MRS（JVA メンバー制度登録システム）については、登録規程の改訂とバレーボールを愛するすべての方々に参加いただけるバレーボールファミリー会員制度を構築する。
- ④ V. LEAGUE 開催は、JVA と Vリーグ機構との共催において、円滑な運営を行うために相互の連携を図りながら支援を積極的に行う。また、バレーボールコンテンツにおける大会等のマーケティング、プロモーションについては、それぞれの大会を通して共同で参画できるように努める。
- ⑤ 競技の高潔性を保ちアンチ・ドーピングを遵守する。
公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）との更なる連携を図り、ドーピング検査の実施や教育・啓発活動を推進する。特に、日本代表選手（シニア・ユニバ・ジュニア・ユースを含む）やトップリーグの選手・チームスタッフに対して講習会を実施し、バレーボール界における更なるドーピング知識の浸透を図る。
更に、本年度開催される東京 2020 大会をアスリートがフェアに競い合うことのできるクリーンな大会とするために、JVA としても鋭意努力をする。

以上